

おはようございます。

長崎大学人、河野茂です。

今回も沢山のメールを皆さんから頂きました。ありがとう。

全員には返信できませんが、じっくりと読みたいと思います。

本日は、本学の大きな動きについて皆さんに報告します。

昨年末に報道された、理系大学院の統合構想です。2024年度をめどに、医歯薬学系を除いた理系の大学院を統合する構想です。

情報系、工学系、水産・環境科学系をひとつにまとめて学際的な取り組みを後押しし、学生や社会のニーズに答えて、立派な研究者を育て、社会に役立つ人材育成を目指すものです。

誤解がないよう、改めてお伝えしますが、研究者をしっかりと育成するための統合構想です。

また、昨年話題となりました経済学部や情報データ科学部のキャンパスの移転の検討は、現時点では、まだ何も正式に決まっていません。

私は、単独学部でのキャンパスよりも文理が融合したキャンパスの方が、学生にとっても魅力的だと思いますし、シナジー効果が出て多くの教育や研究プロジェクトが動くと思っています。

これについては、私の任期の間大きな方針が出ればと思っていますが、状況はまだまだ流動的です。

もうひとつ、キャンパスに関する報告があります。

文教キャンパス内のテニスコートの近くに、学生のための寮を建設します。

留学生も含め本学学生なら誰でも入れるグローバルレジデンスです。

約300名の入居が可能となります。学生寮は、全国的には、廃止や縮小の報道が目立ちますが、昔ながらの寮ではなく、今の学生のニーズに合った建物とすべく計画しています。

学生間の横のつながりが生まれ、ウィズ・コロナ時代にふさわしい運用となることが期待されています。

国立大学では、めずらしい取り組みと思いますが、新しい時代のランドマークになるような寮となればと思っています。

さて、今回は、4回にわたりメッセージを発信しました。

学長発信メールが丸3年経って思いのほか好評であったこと、コロナを理由にせず普通の生活をする、長崎大学学歌を歌うこと、キャンパスに新しい動きがあること。

いかがでしたでしょうか。

今回は、本日で、メッセージを終了させてもらいたいと思います。

最後まで読んでくれて、ありがとう。

さて、松の内も明けました。

さあ、今年も勉強に、仕事に、それぞれの目標に向かってがんばりましょう！